

島根県原子力安全顧問会議
自然災害対策小会議論点一覧

★：県独自の確認項目

① 地震
ア 施設の地盤 <1> 島根原子力発電所の直下に活断層はないか
イ 基準地震動 <2> 5つの基準地震動は、どのような地震を想定したものか (7) 敷地毎に震源を特定して策定する地震動 <3> 震源を特定して策定する地震動に宍道断層と海域三連動による地震を選定した理由は何か ★ <4> 島根半島の離水海岸地形と、断層活動との関連性は検討されているか <5> 宍道断層の端部（東端・西端）の当初申請時からの変更理由・設定根拠は何か <6> 宍道断層と鳥取沖西部・東部断層が連動することはないか <7> 海域三連動の端部（東端・西端）の当初申請時からの変更理由・設定根拠は何か <8> 宍道断層・海域三連動の地震動評価において、基本震源モデルの各パラメータの設定根拠は何か <9> 応答スペクトル法による地震動評価に耐専式を適用するものとしめないものがある理由、適用する場合も内陸補正を用いない理由は何か <10> 断層モデル手法による地震動計算において、どのようなパラメータの不確かさや、不確かさの組合せが考慮されているか ★ <11> 断層モデル手法による地震動計算において、経験式（入倉・三宅式）の基となった観測データのばらつきを反映（上乘せ）する必要はないか (4) 震源を特定せず策定する地震動 <12> 2000年鳥取県西部地震、2004年北海道留萌支庁南部地震を基準地震動とした理由は何か ★ <13> 山陰でもひずみ集中帯の存在が指摘されているが、この地域で発生した未知の断層に関する地震（2016年の鳥取県中部地震など）による地震動を考慮する必要はないか ★ <14> 規制委員会でバックフィットが検討されている標準応答スペクトルを考慮すると、今後基準地震動が変更になる可能性はないか
ウ 周辺斜面の安定性 <15> 斜面の崩壊による重要設備への影響は考慮されているか <16> 原子力発電所敷地内にある地滑り、土石流等の危険箇所に対策が講じられているか
エ 耐震設計方針 <17> 耐震重要度分類を決めた判定基準、重要設備の抽出範囲は適切か <18> 重要設備以外の設備の損傷による重要設備への影響は考慮されているか <19> 新たに適用する制震装置は信頼性があるのか ★ <20> 繰り返し地震や、事故が発生した後に起きる地震は考慮されているか <21> 地震に伴う地面の液状化による重要設備への影響は考慮されているか <22> 新たに設置する地下水位低下設備の機能及び耐震性は考慮されているか
② 津波
ア 基準津波 <23> 基準津波はどのような津波を想定しているか <24> 日本海東縁部を波源とする津波において、222kmの断層の方が350kmの断層より高い津波となるのはなぜか <25> 日本海東縁部を波源とする津波において、防波堤の損傷が考慮されている理由は何か ★ <26> 地震以外の要因による津波の影響は考慮されているか
イ 耐津波設計方針 <27> 津波（水位上昇側）による施設への影響（浸水等）は考慮されているか <28> 津波（水位下降側）による海水ポンプの取水性への影響は考慮されているか <29> 防波壁への基準津波の水圧と漂流物衝突による影響は考慮されているか
③ その他自然災害
ア 竜巻 <30> 原子力発電所敷地で想定する竜巻風速の設定根拠は何か <31> 竜巻による重要設備への影響は考慮されているか
イ 火山 <32> 火山灰想定の設定根拠は何か <33> 火山灰による重要設備への影響は考慮されているか
ウ 森林火災 <34> 原子力発電所敷地外で発生した森林火災による施設への影響（延焼等）は考慮されているか
エ その他 ★ <35> 頻発する大雨・洪水や、頻度の高い地震による影響は考慮されているか <36> 複数の自然現象の重畳は考慮されているか ★ <37> 福島第一原子力発電所で問題になっているような汚染水への対策（汚染源に水を近づけない、汚染水を漏らさない）は考慮されているか